

平成二十七年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「夏」

期間 平成二十七年五月一日～平成二十七年七月末
投句数 二、七四七句

特選三句

天 鎌倉や七夕笹を改札に

東京都大田区 荻野周雄

地 梅雨はげし一気に濁る滑川

神奈川県横浜市南区 岸本隆雄

人 老鶯や一礼をして入る寺門

千葉県市川市 高木ヤ工子

入選句

一般の部

大仏に立子の句碑やホトトギス

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

鎌倉に夏の来てゐる八百屋かな

神奈川県三浦市

秦孝浩

禪寺の警策ひびく夏初め

神奈川県横浜市青葉区

寺橋正光

托鉢の網代笠へも落花かな

神奈川県鎌倉市

山本亮

ただならぬ日焼け水難救助員

千葉県船橋市

栗原勝

寿福寺の薨を仰ぎ栄西忌

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

三段に三つの音色作り滝

神奈川県横浜市戸塚区

中西政子

禅寺の寂と鶯老いを啼く

東京都調布市

寺川徳子

鎌倉を巡る山々滴れり

神奈川県鎌倉市

大谷直吉

紫陽花や東慶寺から建長寺

神奈川県横浜市港北区

鈴木基之

一族の苔の奥津城五月闇

神奈川県横浜市港南区

雑賀義久

源平の池や名残の蓮白く

東京都目黒区

片桐啓之

大仏の横顔も良し夏の山

神奈川県茅ヶ崎市

北郷 聖

あぢさゐの花曼荼羅の中にをり

神奈川県三浦市

兵藤逸子

初蟬や文人墓地の石畳

兵庫県姫路市

石窪昭人

(順不同)

入選句

子どもの部

紫陽花に竹がつらなる報国寺

東京都板橋区

大堀あさひ

明月院紫陽花たちが咲きほこる

東京都品川区

庭野太陽

やまのぼりつかれたけれどぜっけいだ

神奈川県横浜市南区

森田瞳来

日焼けしたうでをながめて思い出す

東京都豊島区

河合海音

大仏の肩にとまりしつばめかな

東京都豊島区

岡田周也

初夏の空あの頼朝も見てたかな

東京都豊島区

原口昂大

うぐいすの声が聞こえる東慶寺

東京都豊島区

倉本舜也

風かおる谷戸を登れば円覚寺

東京都豊島区

関健太

紫陽花や古都鎌倉を華やかに

東京都豊島区

松野圭佑

竹やぶに涼しい風と水の音

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

菅波靖哉

あじさいが今と昔を結ぶ町

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

西山恭平

鎌倉は梅雨になっても良い景色

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

稲垣優斗

鎌倉の小町通りも梅雨の色

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

小堀慎太郎

アジサイを見に江ノ電で長谷寺へ

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

宮本侑弥

紫陽花が寺一面に咲き誇る

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

兒玉もも

(順不同)